



# H

# ostelling

# Magazine

巻頭インタビュー

# RINA SAWAYAMA

(リナ サワヤマ)

旅先での出会い、感じたこと、  
すべてが曲の中に生きている。

Photo by Hendrik Schneider

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



# MY STANDARD LUNCH PACK



# FRUITY LUNCH PACK



※写真はイメージです。

それは、フルーティなジャム。  
大人も愉しめる、  
3つの味で好評発売中。

ぼくらのミカタ。

# ランチパック



# Digital HI Membership

ユースホステル デジタルメンバーシップ



## 世界中のユースホステルで使える！

世界80の国と地域にあるおよそ3600ヶ所のユースホステルをリーズナブルなメンバー価格で利用できます！



## PC または スマホ でスグ登録！

登録は簡単3ステップ！クレジットカードまたはPaypalの決済後すぐに会員証がメールで届きます！  
Apple Wallet / Android にも対応しています。



## 旅先だけじゃない！ Digital Member だけの特典も！

世界各国のユースホステルが提携している博物館や鉄道などの会員割引提携サービスはもちろん、日本国内の一部のユースホステルでは Digital Member だけが受けられる特典をご用意しています。

スマホで旅する？  
スマホと旅する？



## 登録はカンタン3ステップ！

- 1** QRコードまたは日本ユースホステル協会HPから登録ページへ
- 2** 必要項目を入力して規定を確認。  
クレジットカードまたはPaypalでお支払い
- 3** 世界中で使えるユースホステル会員証(PDF)がメールで届いて登録完了！



adt/hm14d

※画面はハメ込み合成です。



HOSTELLING INTERNATIONAL

# Vision

Principle and Philosophy

## *Inclusivity*

世界を超えて

## *Learning and Understanding*

考えよう

## *Sustainability*

僕らと子ども達の未来のことを

日本ユースホステル協会はユースホステルのビジョンに基づき、日本国内にユースホステルを設置・運営すると共に、国際ユースホステル連盟や各国のユースホステル協会と協調し、知見を広める「旅」を促進する活動を行っています。

### Hostelling Magazine読者の皆様 発行日程変更のお詫び

平素よりHostelling Magazineをご愛読いただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、本誌Hostelling Magazine vol.21の発行日を変更して発行いたしました。楽しみにお待ちいただいていた皆様におかれましては大変申し訳ございませんが、なにとぞ事情をお汲み取りいただき、ご了承頂きますようお願い申し上げます。また、本年度発行の次号以降の発行日程につきまして、右記の通り予定しています。

### 2020年度季刊誌「Hostelling Magazine」発行スケジュール

変更前	変更後
夏号 6月下旬	8月下旬
秋号 9月下旬	10月下旬(予定)
冬号 12月下旬	変更なし(予定)
春号 2月下旬	変更なし(予定)

## Line up

インタビュー ..... P02

RINA SAWAYAMA(リナ サワヤマ)

旅先での出会い、感じたこと、すべてが曲の中に生きている。

Youth Hostel Pick up ..... P08

日本海を望む丘の宿は、  
羽幌を愛する夫妻が営む  
旅の交差点  
羽幌遊歩ユースホステル

Hostelling Magazine × 地球の歩き方... P12

また、旅立つときのために……  
アメージングな世界の秘境&大自然

- 大地を埋める空前の万枚田
- 難破船が見守る秘密のビーチ
- ウェーブを描く赤砂の芸術作品
- 目の覚めるような鮮やかなピンクの湖
- 先住民文化マオリの「聖なる森」

Sustainable Tourism ..... P18

ユースホステルはじめての一步 ..... P20

教えて! 旅GIRL ..... P21

松島むうの晴れときどき旅びより..... P22

※本紙の情報は2020年8月20日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけの前に現地にお確かめください。  
発行所 一般財団法人日本ユースホステル協会  
編集・発行人 寺島 真  
TEL (03) 5738-0546  
〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1  
国立オリンピック記念青少年総合センター内  
※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。  
制作・印刷製本/サンメッセ株式会社

巻頭インタビュー

旅先での出会い、

感じたこと、

すべてが曲の中に生きている。

ポップ・アーティスト

# RINA SAWAYAMA

(リナ サワヤマ)

5歳のときに家族とイギリスへ移住し、13歳のときから音楽活動を始めたというRINAさん。その傍らでケンブリッジ大学に進み政治学を学びますが、大学では人種差別的な言動を受けることも多かったそうです。日本では2019年に出演した「情熱大陸」で“次のレディ・ガガ”と称されて注目を集めました。2020年4月には自身初となるフルアルバム「SAWAYAMA」を、イギリスの名門レーベル「Dirty Hit」からリリース。あのエルトン・ジョンが自身のラジオ番組の中で「今年一番のお気に入りのアルバム」と絶賛し注目を集めています。そんなRINAさんに、コロナ禍での過ごし方や同時期に起きた人種差別問題、曲づくりの背景や思い出に残っている旅のエピソードなど、盛りだくさんなお話を伺いました。

## ステイホーム期間を利用して 曲づくりに集中しています

—世界中で新型コロナウイルス感染拡大の影響が出ていますが、イギリスではどのように過ごしていますか？

イギリスでも、3月からずっとロックダウン(都市封鎖)が続いていましたね。私も、ちょうどロックダウン前に2日続けてミュージックビデオの撮影をしていたんですけど、公共の交通機関を使って外出したのはそれが最後でした。6月に入ってようやく、段階的にいろんな規制が解除され始めてきています。今は、仕事のための外出とか、基本的に外に出ることはできるんです。でも、私の仕事は家でもできることなので、今は次の曲づくりの準備をしている所です。ただもう、こういう生活に慣れてしまったというか。コロナ以前は2年間くらい、世界を飛び回ってほとんど家にいない生活が続いていましたので。今は逆にステイホームを楽しんでいます。

—こういう状況だからこそ、曲づくりに集中できているんですね！

以前だったら、曲づくりのためにスタジオに入ったとしても夜には別の用事に時間を割かなきゃいけなかったり。翌日になると、朝にまた別の用事を済ませてからスタジオに直行したり。1日を完全に制作に使えなかったんです。それはそれで、いろんな脳の使い方があることを学べたのですが。それが今は3カ月間、すべての時間をクリエイティブな作業に集中することができています。

## 曲づくりはソングライティングが 一番重要だと思っています

—RINAさんの曲はどれも、異なったスタイルやアプローチが用いられていて、とても変化に富んでいて聴く度に新鮮な発見があります。楽曲を作るときに大切にしていることはどんなことでしょうか？

私はいつも、曲づくりではソングライティングが一番重要だと考えているんです。つまりメロディと歌詞。この点をコアにした曲づくりをしているんですね。根幹のソングライティングが上手いかなと、他の要素もくずれてきてしまいます。

例えば、最近のオルタナティブ・ポップス界では、楽曲の展開や楽器の音質・バランスなどテクニックを駆使した音づくり、つまり「演出」に力を入れ過ぎてしまう傾向があって、ソングライティングが上手くない例がすごくあります。私は、演出に力を入れるよりも、まず、強いメロディラインかどうか、メッセージの伝わる歌詞になっているか、という点に力を注ぎます。

そこから先は実験をしているというか、自然のままに任せている感覚です。

私は、自分の曲を一人の人間として捉えている所があって。「この曲

は、どういう服が似合うのだろうか」「どういう服が着たいのだろうか」と考えていく感じ。この曲でどういうメッセージを伝えたいか、メッセージ性はなんだろうと掘り下げていく中で、シーンに合った洋服を選んで着せていくような感覚なんです。そういう意味では「私らしいスタイル」というのは無いかな。「これこそが私のサウンドだ!」みたいなことを気にするよりも、最終的にメッセージを伝えられているかどうかを大切にしていますね。

新しいアルバムを共同でプロデュースしているClarence Clarity\*にしても、お互いが持っている音楽的なテイストや趣味が多岐に渡っています。その中で、曲が表現したい世界観に合わせて「この曲はスタジアムロックでいこう」とか、「メタルでいこう」とアイデアを出し合っています。他にも「80年代のテイスト」がいいのか「コンピューターゲーム的なバイブの曲を書こう」という方向なのか。わりとお互いの、その時のフィーリングに任せているかもしれません。

例えば新しいアルバムの中に「Who's Gonna Save U Now?」という曲があって、もともとは90年代のマックス・マーティン的なサウンドを目指していたんです。でも、いったん曲が出来あがってから聴き直してみると「ちょっと、この服じゃないな」となって。最終的にはスタジオロック的なサウンドに変えました。そのほうが、この曲で伝えたい「救われる」というメッセージが生きてくると思ったからなんです。

\*Clarence Clarity(クラレンス・クラリティ)…イギリスのシンガーソングライター、プロデューサー

## 私の曲はすべてパーソナルな体験が ベースになっているかもしれません

—デビューアルバム「SAWAYAMA」では、ご自身の「家族とアイデンティティ」をテーマにされています。LGBTQコミュニティの仲間に捧げた「Chosen Family」や、自覚のない人種差別を激しく非難する「STFU!」が印象的です。

「Chosen Family」という曲は、親友であるクィア\*の友人たちに捧げた曲です。クィアにとってカミングアウトはとても大きな問題。周囲の人に受け入れられず、大変な思いをしている人が多いんです。私の周りでも両親にカミングアウトしたことで家を追い出されてホームレスになってしまった友人もいます。そういう背景をみんなが共有しているLGBTQコミュニティは、ありのままの自分を受け入れてくれる、深いところにつながった、自分の家族のような存在で、お互いに批判もできるし、冗談を言い合ったりもできる。安心して自分をさらけ出せる場所なんです。だからこの曲は、自分で選んだ家族たちへ愛を捧げるための曲です。少し臭いかもしれないけれど(笑)。

「STFU!」という曲に関しては、ミュージックビデオを見てもらうと、分かりやすいんじゃないかと思っています。すごくパーソナルな体験をもとに3時間くらいで書き上げた曲です。ミュージックビデオでは実際に自分に起きたことをそのまま表現しています。導入部分の会話がありますが、内容はすべて私が実際に言われたことなんです。

\*クィア(Queer)…セクシャルマイノリティ(性的少数者)の総称。  
L(レズビアン)、G(ゲイ)、B(バイセクシュアル)T(トランスジェンダー)すべて、また自分のセクシュアリティを自問中の人も含む。

## 人種差別が無くなるまで 言い続けなければいけない

—新型コロナウイルスの影響でアジア人を対象とした差別が起こっていたり、また同時期に、世界中でBlack Lives Matterの抗議活動が広がっています。イギリスで人種差別を実感することはありますか？また、この問題に対してどのようにお考えでしょうか？

私はSNSなどで世界の抱える問題について、自分の考えを頻繁に投稿していますが、人種差別の問題はとても大きなトピックです。「STFU!」という曲では、私が経験した人種差別を題材にしています。それは言葉によるもので、例えば「同じアジア人だから」という理由でルーシー・リュウと比較されたり、しかも相手は褒めているつもりだったり。こうしたことは常にあるんですね。悪意を持っていないからこそ人種差別的な言葉が出てくることが、根が深いと思っています。私は高校まででロンドンの学校に通っていましたが、ロンドンは“人種のはりば”なので人種差別を経験したことがなかったんです。ところがケンブリッジ大学に行った瞬間から常に人種差別を受けるようになりました。ケンブリッジ大学は階級制度をすごく意識していて、人種差別というものそこから出てくるんです。今は新型コロナウイルスがあるのでアジア人に対する偏見や差別が増えてきていると思います。今の状況にフラストレーションを感じている人が多く、それをぶつけられているという側面もあるように感じます。

でも、Black Lives Matterは、まったく違う次元の問題なんです。黒人が受けている差別というのはシステムティックに行われていて、子どもの頃から本当の人種差別を受けています。アメリカという国はそもそも、建国が奴隷制度に基づいているという部分があるので。警察の黒人に対する扱いと、アジア人への扱いはまったく違います。例えばアジア人の私が本当に困っているときに警察に電話をしたら、助けに来てくれることに何の疑いも持たないし、私も心配しないと思います。黒人は、そもそもそこから違うんです。単純に、ただ車の前に立っただけで車を盗むんじゃないかと疑われる。子どもの頃から、そういう人種差別に毎日のようにさらされています。アジア人は、人種差別というものがあっても黒人のような扱いは受けていないんですね。私は今、みんなにメッセージを届けられる立場にいるので、人々に確かな情報や知識を届けて、みんなに分かってもらいたいと思っています。これはもう本当に、黒人差別が無くなるまで言い続けなければいけないことだと思っています。

## SNSも含めていろんなものから インスピレーションを受けます

—RINAさんはどんなところからインスパイアを受けることが多いですか？RINAさんのSNSは大変な人気ですが、SNSを通してインスパイアを受けることもあるのでしょうか？

今は、昔に比べてSNSに没頭していないというか(笑)。日本の「情熱大



RINA SAWAYAMA さんInstagramより

陸」というテレビ番組で取り上げてもらってから、またアルバムがリリースされてからフォロワーがすごく増えたのですが、そこまで人数が多くなかったときのほうがフォロワーの人たちとコミュニケーションがとりやすかったと感じているんですね。たくさんの人が私のSNSを見てくれるようになってから、どうしても誤解されることも増えてきてしまって……。私自身は、人のいい面を見るようにしていて、「もしかして、その人のお母さんが先日死んでしまったから、こんなにも私に当たるのかもしれない」とか。それが本当かどうかは別にして、そういう風な考え方をしたほうが、自分を守れるというか。そういう風に考えられるきっかけを与えてくれたのは一冊の本でした。私にとっては、SNSも含めて何でもインスピレーションに変わってしまう所があります。パーソナルな実体験もそうだし、本を読むことで違う人の考え方を垣間見たり、体験することができる。そういう意味では、いろんなものからずっとインスピレーションをもらっています。

## 食べたい料理によって 旅先を決めてしまう

—RINAさんは現在ロンドンにお住まいですが、イギリス以外を旅した経験ってありますか？

子供の頃は……これは両親が離婚する前の話なんですけど、父が航空会社で働いていたので、福利厚生の一環として無料で飛行機に乗れたんです(笑)。それで、よく家族でフランスへスキー旅行に行っていました。残念ながら、家族旅行は12歳くらいから行ってないのですが、そういう意味でもすごく大切な思い出ですね。「フランスでスキー」と聞くと、日本のみなさんはすごくブルジョワなイメージを持つかもしいない(笑)。でもよく考えてください。イギリスとフランスの距離って東京と北海道と同じくらいなので、安く行ける旅行先なんです。なので、夏はプロヴァンスに行ったりしていました。最近は、ヨーロッパだとイタリアを旅行することが一番好きですね。祖父母が歳をとってききましたので、飛行機での長時間の移動が難しくなってきたこともあります。ローマ、フィレンツェ、ボローニャを訪

れたり、クルーズ船に乗って地中海からトルコに行ったり、サントリーニ島でロバに乗って山あいを冒険したり、楽しい思い出がいっぱいあります。

今は、もっとアジアを旅行したいと思っています。以前、これは仕事だったのですが、3日ほど上海に滞在したことがあって。もちろん仕事なので自由にいろんな所を回る時間は無かったのですが、それでも少しだけ上海を探検することができました。中国はもっともっと回りたいですね、中華料理が大好きなので!あとは、日本もいろんなところに行ってみたくて思っています。父方の異母兄弟、姉と兄が広島に住んでいるのですが、子どもの頃から訪れていないので行きたいですし、沖縄や北海道にも行ってみたいです。あとは東南アジア!フィリピンやタイも素敵ですね。私は、料理によって行き先を決めちゃう所があるので(笑)。というのもイギリスって、イタリア料理なんかのヨーロッパテイストの料理は美味しいんですけど、アジア料理は結構ひどかったんです(笑)。今は、昔よりは良くなっているんですけど。ただ、私はアジア料理が大好きで、特に中華料理が一番好きかもしれない。あまり自分で料理はしないのですが、そもそもアジア料理の材料もなかなか手に入らなくて。美味しい料理を食べながら世界を回りたいなあ……と思っています。

## ユースホステルは 生涯の友達もできる場所

——ちなみに、今までのご旅行でユースホステルを利用されたことはありますか?

あります!日本でも利用しましたね。特に、京都で行ったユースホステルが本当に素晴らしかったです!ヨーロッパではアムステルダムなどのユースホステルにも泊まったことがありますよ。日本のユースホステルとはとにかく次元が違います。本当にきれいで……。京都のユースホステルに行ったのは2012年に帰国した時ですね。ユースホステルのような施設は本当に大事だと思います。東京や京都だといろんな外国人が集まってきていて、旅行者同士の出会いの場になっていますし、生涯の友達までできちゃうような場所だと思うんですよね。私のイギリスの友人も、ユースホステルでニュージーランド人と友達になったと話してくれたことがあります。

## 子どもの頃は飛行機が怖かった(笑)

実は……子どもの頃は飛行機が怖かったです(笑)。8歳くらいのときから日本とイギリスを行き来していたのですが、いつも母と一緒に乗るわけではなかったんで、一人で飛行機に乗ることも多くて。しかも母と一緒に乗るときでも、母はビジネスクラス、私はエコノミーで別々の座席に座ることも多くて。ひどくないですか(笑)?まあ、子どもがビジネスクラスに乗るのもどうか……というのは分かるんですが(笑)。そうすると、乱気流とかがあったときに一人で我慢しなくちゃいけないんです。さらに、アメリカのテレビシリーズで「LOST」ってあったのをご存知ですか?飛行機が真っ二つに割れて無人島に不時着してしまうという、飛行機嫌いにとっては悪夢みたいなテレビシリーズだったんですけど(笑)。それで、さらに恐怖におののいてし

### Profile

## RINA SAWAYAMA

ロンドン在住のポップシンガー。1990年新潟生まれ、5歳のときに家族とイギリスに移住。13歳から音楽活動を開始し、ケンブリッジ大学卒業後、アーティスト活動を開始。UKのレーベル「Dirty Hit」に所属。作詞・作曲・MVディレクションを自ら手掛け、海外メディアThe FADER「2017年知っておくべきアーティスト」、DAZEDの「DAZED 100 (次世代を担う100人)」に選出。VOGUEやi-dなどファッション誌でモデルを務め、adidas、MAC、Versus Versaceのブランドキャンペーンに起用。日本では2019年6月にTV番組「情熱大陸」に出演し話題を集めた。同年11月、最も輝いた女性に贈られる「VOGUE JAPAN Women of the Year 2019」受賞。2019年11月22日、シングル「STFU!」をリリース。2020年4月に自身初となるフルアルバム「SAWAYAMA」を発売。世界で注目を浴びるポップ・アーティスト。

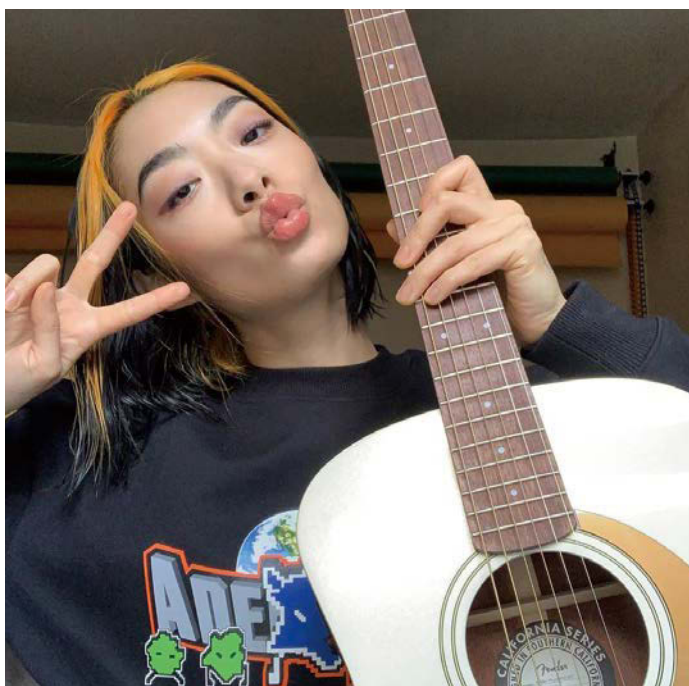




Photo by Hendrik Schneider

まった……という思い出があります。

今はこの仕事をしていて、いろいろ素晴らしい土地に行かせてもらって。どこに行っても、数日間はオフが入るようにしています。どこに行っても、その土地の食べ物を通して地元のパイブを探るというのはありますね。最近、プライベートで行けていないので、ステイホームの時期にいろいろ考えたのですが、今年こそ、本当の意味での旅行に行きたいです。カリブ海とかもいいですね。旅行を体験することって大切だと思うんです。日本のような島国だと、みんな均等というか、人種の違いというのがあまり感じられないですね。でも、ロンドンやニューヨークというのは本当に多様性の街で、訪れることで視野が広がるというか、自分がいかに小さいかというのを体験できる感じがあると思います。

— 今、日本の若い人たちが海外にあまり目を向けていない、内向き志向の人が多んじゃないか……と言われていています。RINAさんは日本の若者にどんな印象をお持ちですか？

正直に言うと、日本に住んでいたのは5歳までで、その後も年に3回くらいは日本に来ていたというのはあるんですが、どちらかと言うと西

洋人的な見解になってしまって日本のユースカルチャー（若者文化）は知らないんです。残念ながら。ライブなどで日本を訪れる機会が増えたら、オーディエンスを通して日本のことをもっと知りたいと思っています。

なので、「なぜ海外に出ない人が多いのか」という問いに対する答えは出ないのですが(笑)。ただ大学時代の専攻で、心理学的・政治学的・社会学的ないろんな見解を勉強していました。結局、心理学的な問題というのは、常に社会学的・政治学的な背景があるんですね。その観点から考えてみると……だって、日本に来るたびに感じますが、すべてが完璧じゃないですか。コンビニも素晴らしいし、きれいだし、犯罪も起きない。「日本よりも犯罪があつて、汚い場所に行くわけじゃない？」っていう感覚は、分かるんですよ(笑)。いずれにせよその問いの答えには、政治学的・社会学的な背景があると思います。

**アジアツアーを回りたい！  
もちろん東京も予定しています**

— Hostelling Magazineを読んでいる読者にメッセージをいただきたいです！

今、このHostelling Magazineを読んでいるということは、あなたは旅やユースホステルに興味がある、もしくは今ユースホステルにいるのかもしれないですね!そして、ユースホステルにいるということは、旅について考えていると思っているんですけど。それは本当に素晴らしい体験だと思うんです。新しい人との出会いもある。最近では、知らない人との会話というのは、オンラインでは増えているのかもしれないけれど、リアルでは減っていますよね。旅行をきっかけに、いろんな人との出会いを体験することが大切なんじゃないかと思います。

ステイホーム期間中に新しい楽曲を手掛けていることはお話しした通りですが、近いうちに、あと2曲ぐらいシングルを出そうと思っています。そしてコロナが落ち着いたら、ぜひアジアツアーを回りたいと思っています。もちろん東京も予定に入っていて、今からすごく興奮しています!今までも日本でライブをやったことがあるのですが、ビジネスイベントのようなもので一般の人が参加できない形だったんです。なのでぜひ、みなさんに来てもらえるライブをやりたいと思っています!

—最後に今後の活動のご予定を聞かせてください。特に、日本でのライブの予定があればぜひ!

## NEWS



### シングル XS (feat. Bree Runway - Remix)

「XS」は、RINA SAWAYAMAさんのデビューアルバム「SAWAYAMA」の収録曲。今回のリミックスでは、UKのポップシンガー「Bree Runway」とのコラボ作品となります。

ご視聴はこちらから >>>

<https://open.spotify.com/track/IZY50humdG5lDb1SSFbFry?si=BcHFuSSLS8monrw8ylL4iw>



### アルバム 「SAWAYAMA」

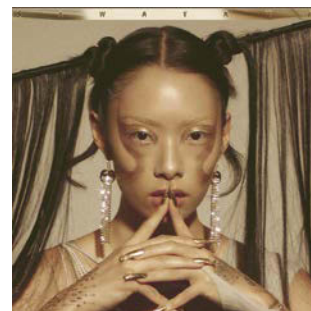
UKの名門レーベル「Dirty Hit」より、デビューアルバムが配信中!



<<< CHECK  
<https://www.rina.online/>

#### 収録曲

- |  |  |
|--|--|
| 01. Dynasty                              | 08. Bad Friend                         |
| 02. XS                                   | 09. Fuck This World (Interlude)        |
| 03. STFU!                                | 10. Who's Gonna Save U Now?            |
| 04. Comme des Garçons<br>(Like The Boys) | 11. Tokyo Love Hotel                   |
| 05. Akasaka Sad                          | 12. Chosen Family                      |
| 06. Paradisin'                           | 13. Snakeskin                          |
| 07. Love Me 4 Me                         | 14. Tokyo Takeover<br>(日本限定国内ボーナストラック) |



#### ● PRESENT ●

RINA SAWAYAMAさん  
ポスターを抽選で3名様に  
プレゼント!

応募締切 2020年10月末日

ご応募は日本ユースホステル協会ホームページの専用お申込みフォームから!

<http://www.jyh.or.jp/hm/>


※なお、当選発表は、商品の発送を以てかえさせていただきます。




**つづきをダウンロード(無料)**




**Hostelling Magazine vol.21**  
まとめてダウンロード




**Sustainable Tourism** ..... P18



**インタビュー** ..... P02  
RINA SAWAYAMA(リナ サワヤマ)  
旅先での出会い、感じたこと、  
すべてが曲の中に生きている。




**ユースホステルはじめての一步** ..... P20



**Youth Hostel Pick up** ..... P08  
日本海を望む丘の宿は、  
羽幌を愛する夫妻が営む  
旅の交差点  
羽幌遊歩ユースホステル




**教えて! 旅GIRL** ..... P21



**Hostelling Magazine × 地球の歩き方**... P12  
また、旅立つための……  
アメージングな世界の秘境 & 大自然

- 大地を埋める空前の万枚田
- 難破船が見守る秘密のビーチ
- ウェーブを描く赤砂の芸術作品
- 目の覚めるような鮮やかなピンクの湖
- 先住民族マオリの「聖なる森」



**松島むうの晴れときどき旅びより**..... P22

**Hostelling Magazine読者の皆様 発行日程変更のお詫び**

平素よりHostelling Magazineをご愛読いただき、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、本誌Hostelling Magazine vol.21の発行日を変更して発行いたしました。楽しみにお待ちいただいていた皆様におかれましては大変申し訳ございませんが、なにとぞ事情をお汲み取りいただき、ご了承頂きますようお願い申し上げます。また、本年度発行の次号以降の発行日程につきまして、右記の通り予定しています。

2020年度季刊誌「Hostelling Magazine」発行スケジュール	
変更前	変更後
夏号 6月下旬	8月下旬
秋号 9月下旬	10月下旬(予定)
冬号 12月下旬	変更なし(予定)
春号 2月下旬	変更なし(予定)

発行所:一般財団法人日本ユースホステル協会 編集・発行人 寺島真 〒151-0052東京都渋谷区代々木神園町3-1国立オリンピック記念青少年総合センター内 印刷・製本:サンメッセ株式会社  
※本誌の情報は2020年8月20日現在のものです。変更になる場合がありますので、お出かけになる前に現地にお確かめください。 ※本誌掲載記事の無断転載を禁じます。